

いのちの授業

院長 小原 眞

今年度に入り、高校生と触れあうご縁に巡り会い、貴重な経験をすることができたのでご紹介します。

もともと消化器外科を専門とし、消化器がんの患者さんの治療やケアを行ってきた私にとって、「緩和ケア」は切っても切れない領域でした。県立病院勤務時代は、がん診療連携拠点病院にて行われる緩和ケア研修会の講師として緩和ケアの普及に努めてきました。当院に赴任してから、町内にて緩和ケアに関わる講話を各地域にて行ってきました。そして、かねてから地元の児童・生徒たちに「いのちの授業」を行いたい旨を教育長さんはじめ学校関係者に伝えていたところ、この度県立西和賀高校にて授業を受け持たせていただく機会を得、喜び勇んで行ってきました。

授業の内容は、やはり「緩和ケア」。生徒さんたちは真剣なまなざしで話を聞いてくれました。なかには涙を流しながら聞いていた生徒さんもいたそうです。これからたくさんの経験を積んで社会に巣立っていく若者たちに、「いのちの大切さ」を伝えることができ、私も自然と熱がこもっていくのが分かりました。授業の後、生徒さんたちからいただいた感想をいくつか紹介します。

「緩和ケアのように、心のケアが重要だということが意外でびっくりした。」

「地域だからこそ患者さんにしっかり寄り添えるところも、さわうち病院の魅力なのかなと思いました。」

「終末期の患者さんをサポートする医療関係者・スタッフが『そんなことも！？』と思うような支援をしていることが分かり、すごく感動した。」

「医療の仕事は ～ 自分自身のスキルアップを感じることが多い魅力的な仕事だと思いました。」

これらの感想を目にし、改めて私の胸も熱くなりました。なんと頼もしい言葉でしょう。次の世代の若者達の力に期待しています！



いのちの授業の様子

がん（などの病気）による心と身体の苦痛をやわらげ、自分らしい生活を送れるようにするケアがあります。

それが「緩和ケア」です。



授業で使用了スライド

BBQ くるみの会会長 石亀 慎也

町立西和賀さわうち病院ではコロナ禍になってから控えていた職員行事を今年度から再開しました。数年ぶりとなるBBQ大会では、新鮮で大ぶりの夏野菜や手料理を持ち寄り（北村顧問の豚バラハーブ肉と鶏むねの南蛮漬けは絶品でした）、オセンのお肉や海鮮もあり、ついつい食べすぎてしまう日となりました。普段は見えない職員の一面（マスクをとった顔も意外とみませんよね）も垣間見え、笑顔あふれる時間を過ごせました。様々な理由で行事の機会は減っても、コロナ前以上に職員同士の関りや息抜きの時間を大切にしていきたいと思います。



R6.7.20 BBQ大会をしました。

さわうち病院 外来よりお知らせ

生活習慣病管理料は、栄養、運動、休養、喫煙、飲酒及び服薬等の生活習慣に関する総合的な治療管理を行う旨、患者に対して療養計画書により丁寧に説明を行い、患者の同意を得るとともに、計画書に患者の署名を受けた場合に算定できるものです。当院では令和6年6月より、糖尿病、脂質異常症、高血圧を主病とする患者に対して、生活習慣病治療計画に基づく総合的な治療管理を行っています。生活習慣病の改善や重症化、合併症を防ぐためにも減塩に努め栄養バランスの良い食事を規則正しく摂ること、毎日30分程度のウォーキングなど運動を心がける、十分な睡眠を確保する、禁煙、節酒など目標を設定し、我々医療従事者と患者・住民が一緒に取り組んでいくことが重要であると考えます。保健活動による生活習慣病予防と、医療の介入による生活習慣病の改善の効果で、町内の生活習慣病罹患者が減少し健康な町民がさらに増えることを期待します。

また当院ではマイナ受付対応をしています。マイナンバーカードで保険証の確認が出来、保険者への手続きをしなくても限度額適用認定証等の情報の確認が可能です。当院受診の際、マイナンバーカードをお持ちの際にはカードのご提示をお願いしています。



氏名	〇〇 〇〇	個人番号カード
住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇〇号	性別 女
	昭和〇〇年〇月〇日生 〇〇年〇月〇日まで有効	
	〇〇市長 〇〇市長 〇〇市長	年 月 日
01234567890123456 0123		
署名年月日 年 月 日 署名		